

令和4年度 第31回 大学院セミナー

令和4年 10月 4日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	保健科学分野 責任者名(大西眞由美) 内線(7943)
演題 Title	健康の生態学
講師等 Presenter	梅崎昌裕 (東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻人類生態学分野)
概要 Abstract	<p>生態系のなかでは物質が循環しています。加えて、生態系には外部から人為的に物質が持ち込まれ、持ち出されてもいます。離島を例に考えれば、その島の土壌や空気、水に含まれる物質は農作物に吸収され、人間によって摂取されます。島の周辺の海洋生態系に存在する物質も魚介類を通じて人間に摂取されます。人間の排せつ物は下水処理を経たうえで地域生態系に戻されます。島外からは船や飛行機で、さまざまな物資が持ち込まれ、また島で生産された食物や物品、廃棄物が島外に持ち出されます。どのような物質が地域生態系に持ち込まれ/持ちだされ、どのような物質が地域生態系を循環しているかによって、そこに生存する人間がどのような物質を摂取するかがある程度は決定されます。ある程度という但し書きをつけたのは、同じ地域生態系に生存している個人でも、どこでどのようにふるまい、何を食べて誰とかわるかによって、摂取する物質の種類と量が異なってくるからです。行動の個人間差には、性や年齢によって説明される部分もあるでしょうし、個人ごとの考え方・嗜好によって説明される部分もあるでしょう。</p> <p>物質は、人間にどのように使われるか、人間にどのような影響を与えるかによって、栄養素、農薬、薬、汚染物質などと分類されます。地域生態系に存在する栄養素が不足していれば栄養欠乏という問題が発生し、地域生態系を循環する汚染物資に人間が過剰に暴露すれば、その毒性による健康障害が発生するでしょう。講義では、地域レベルの健康問題を考える際には、このような生態学的な視点が有効であることを論じたいと思います。</p>
開催日時 Date and Time	令和4年 11月 11日(金) 18:00 ~ 19:30
開催方法 Face to face	保健学科 2階 大学院生室 2
備考 Notes	

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)